

# 精神科看護師の365日

平成25年度の日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.1

## ベテランナースの1日

公益社団法人岐阜病院 岩田光さん(54歳・精神科看護歴15年)の場合



一番右が岩田さん。病棟のスタッフとのコミュニケーションも大事にしている。

### 精神科看護師になったきっかけ

もともと精神科ではない診療科に勤務していましたが、出産を機に10年ほど休職。家庭と両立しやすい職場環境を考慮して、精神科での復職を決めました。実際、精神科で働いてみると、他科と比べてじっくりと患者さんに向きあえる時間を多くもつことができ、無理なく復職できたと思います。

### 現在の仕事内容

看護長のもとの副主任として、退院調整にかかわる業務を担当しています。病棟内の20人ほどのスタッフと連携しながら、長期入院患者さんが退院に向けてスムーズに計画を立てられるようにサポートをしています。特に面接には力を入れています。

岩田さんの

### ある日のスケジュール

- 9:00 出勤、申し送り
- 9:15 病棟内をラウンド  
担当患者の検温処置、  
情報収集、記録など
- 11:30 昼食配膳、食事介助、  
配薬
- 12:00 休憩
- 13:00 ラジオ体操、  
ミニカンファレンス
- 14:00 患者さんとの面接  
(1~2人)、  
記録、  
スタッフと相談・  
打ち合わせなど
- 16:00 病棟内をラウンド
- 16:30 申し送り
- 17:00 退勤

### やりがいや励みになること

他科での勤務経験がある私が「精神科ならでは」と特に感じるのは、「言葉」や「コミュニケーション」の価値の大きさです。日々の声かけやさりげない会話、聴く力といった、患者さんとの交流の積み重ねが看護に直接結びついていく点が非常に奥深く、勉強になると感じています。いつも大切にしよう意識しているのは、「自分がどうしてほしいか」を押し付けるのではなく、「相手がどうしたいか」に寄り添っていく気持ちと技術。精神科看護に15年ほど携わる間に、私自身も成長することができたと思います。日々のコミュニケーションの積み重ねの結果、20年以上入院していた患者さんのところを退院へと向けることができた時などは、とてもやりがいを感じました。

### 今後の目標

まずは、素晴らしい環境で働けることに感謝の気持ちをもち続けていきたいです。そして、これからも患者さんとのコミュニケーションを第一に、「あなたと話すだけで心が軽くなる」と言ってもらえるようなナースをめざしていきたいと思っています。